

2025 年 11 月 10 日

共立コンピューターサービス株式会社

代表取締役社長 安田 次朗

私たちが掲げる DX 戦略の進捗状況について、以下の通りお知らせいたします。

## <営業データの可視化による付加価値提案推進>

### ◆営業のコミュニケーションツール、基盤強化による生産性向上

スマホの内線化を前提とした電話設備の更改について、基本方針を検討中です。

2025 年度中に方針を確定予定です。

### ◆社内基幹システム刷新

2024 年度までに財務システム、給与計算システム、人事管理システム(基本機能)の更改が完了しました。引き続き、以下のシステム対応を行う予定です。

- ・販売管理システム 部署横断的な推進体制で 2025 年度中に検討開始予定
- ・人事管理システム 評価機能など基本機能以外のツールの利用を検討中

### ◆生成 AI に関する取り組み

生成 AI の社内利用に関するガイドラインを制定しました。(2025 年 6 月)

社内業務において生成 AI を試行・評価中です。

- ・営業活動の見える化のための日報機能への組込 (2025 年 6 月～)
- ・プログラミング効率と精度向上のための開発ツールへの組込 (2024 年 10 月～)
- ・その他、幅広い業務における生成 AI の機能を検証予定

### ◆ゼロトラスト対策

自社のインシデント対応能力を向上すべく EDR/MDR を導入しました。(2025 年 1 月)

また現在、メールシステムの更改対応中です。

## <情報一元化によるデータ活用とデジタルフローの実現> (お客様向け DX)

### ◆情報の可視化(データドリブン)支援

BI ツールの導入とダッシュボード作成支援を実施しております。

### ◆デジタルフロー化支援

企業間の情報共有や業務プロセスをデジタル化し、スムーズな業務フローを実現するための支援を実施しております。

### ◆AI を利用したお客様向けの新サービス

お客様向けの新たなサービスの提供に向け、受注業務における AI-OCR を活用した機能をお客様の協力のもと PoC にて評価中です。

### ◆補助金を活用した DX 推進支援

IT 導入補助金を利用して 2024 年度は 29 社に IT ツールを導入しました。

2025 年度も継続して取り組んでおります。

<DX 人材育成>

◆DX 関連資格の合格者数 (2024 年度)

IPA 情報処理試験        11 名 (内 1 名は高度情報処理技術者試験)

メーカー系認定試験     1 名 (クラウド基盤)

◆教育研修費の投資状況

DX 関連の研修等を中心に 2024 年度の投資予算を前年度比約 30%増額

2025 年度も継続して同額程度の投資予算を計上

デザイン思考(課題解決)研修を 2 回開催

報奨金対象資格(推奨資格)、報奨額の見直し実施

以 上